

楽しく子育て!



第216号

発行日
2025年9月19日

～香川県立図書館 子育て支援コーナー通信～

毎月19日は「かがわ育児の日」

司書のオススメ本

～9月の新着図書から～



『ベビーサイン図鑑 簡単なジェスチャーだけで、2歳児以下とも双方向コミュニケーション!』

吉中 みちる／著
Gakken／刊 2025.8

おしゃべりできない年齢の子どもと、コミュニケーションをとる「ベビーサイン」。はじめ方とともに、いろいろなベビーサイン

が紹介されています。

★この本と同じテーマの本は「1-4 育児」にあります。

『子どものしあわせ栄養学 強い体とストレスに負けない心を手にいれる!』

あこ／著
主婦の友社／刊
2025.8

子どもの成長にかかせない栄養と食事について、年齢ごとの目安の量や、揃えておきたい食材など具体的でわかりやすく説明されている本です。

★この本と同じテーマの本は「2-4 食育」にあります。

子どもの
しあわせ
栄養学

＜9月の新着図書～ほかにもこんな図書が入りました～＞()は棚のテーマと番号です。

(命名 1-3)

『赤ちゃんのハッピー名前事典 最高の名前が見つかる! Baby's happy name』

笹原 宏之／監修 西東社／刊

(妊活 1-2)

『わらべうたベビーマッサージ Japanese Traditional Baby Massage Nursery Rhyme 改訂3版』

奥田 朱美／著, 大木 笑子／絵
合同出版／刊

(子どもの食事 2-3)

『たべものだいすきはじめてのフェルトおまごと Enjoy!Play House』 日本ヴォーグ社／刊

(子どもの健康 2-5)

『バイバイ!噛み爪 親子で始めるネイル・キッズセラピー』 はない かなこ／著, 山口 日名子, 斎藤 雄太／監修 英智舎／刊, 星雲社(発売)

(子育てと仕事 3-1)

『夢を描ける子どもの脳の育て方 スウェーデン流, 「共働き家庭」の子育てをこう変える』

成田 奈緒子, 久山 葉子／著
ビジネス社／刊

(学習 5-2)

『中学生の成績は「親の声かけ」で9割決まる! 第一志望合格率96.8%の塾講師が教える』

建部 洋平／著 飛鳥新社／刊

県立図書館 子育て支援コーナーの本や雑誌は、お近くの公共図書館・公民館等を通じて貸出することができます。また、香川県立図書館のカウンターで、お借りになった本などをお近くの公共図書館・公民館等で返すこともできます。(高松市内の図書館を除く。) 詳しくは、お近くの公共図書館等へご相談ください。



企画展示が新しくなりました！

家族ではじめる健康習慣～生活習慣病を予防しよう～

期間：令和7年9月2日（火）～11月30日（日）

展示している本はすべて貸出しできます。どうぞご利用ください。

11月14日は世界糖尿病デーです。県内の小学校4年生を対象に小児生活習慣予防検診が行われる地域が多いこの時期に合わせて、将来、糖尿病を含む生活習慣病にかかるリスクを少しでも低くするため、家族で健康習慣を身につけませんか。睡眠、運動などの生活習慣に関する本や、野菜をたくさん食べられるレシピ集などを展示・貸出します。

★生活習慣を整えよう

- ・『親子でとりくもう絵でわかる基本的な生活習慣』 谷田貝 公昭，高橋 弥生／編著 一藝社／刊
- ・『子どもの睡眠ガイドブック 眠りの発達と睡眠障害の理解』
駒田 陽子，井上 雄一／編 朝倉書店／刊

★食事で健康になろう

- ・『藤井恵の季節を味わう野菜ストック 食材ひとつでくりかえしおいしい』
藤井 恵／著 扶桑社／刊
- ・『時間がない朝、食欲がない朝はスープ&ドリンクを作りましょう』
松尾 みゆき／著 大泉書店／刊



★適度な運動をしよう

- ・『おうちでできるスイッチマン体操 運動センスが目覚める!』 青山 剛／著 実務教育出版／刊
- ・『12歳までの最強ストレッチ 運動能力がグンと伸びる』 谷 けいじ／著 徳間書店／刊

令和7年度「子育て支援講座」を開催します。

昨年も開催した「パパ・ママのためのミニマネー講座～未来を支える資産形成～」を今年も開催します。日時は、令和7年10月23日（木）です。10:00～10:30が講座、その後10:30～11:00は意見交換や質問の時間です。四国財務局の職員の方を講師にお迎えし、教育費やライフイベントごとの出費や、今後の資産形成についてお話をいただく予定です。詳細は、後日、チラシや県立図書館のホームページでお知らせします。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

<子育て支援担当より>

9月になっても、暑い日が続いています。涼しくなるのが待ち遠しいですね。
最近、朝のドラマの影響か一般資料コーナーでも、やなせたかしさんの本が借りられているようです。児童資料コーナーでは、もちろん「アンパンマン」は、ずっと人気のある本です。ドラマをなんとなく見ていて、高校生になった息子がまだ保育所に通っていた頃、「アンパンマン」が発音できず「パンマン」と言っていたのを思い出しました。「アンパンマン」以外の「〇〇パンマン」というキャラクターを全て、「パンマン」と呼びます。大きく違っているわけでもなく、名前をたくさん覚えなくていいし、便利な言葉やなあと感心しながら親子で「パンマン」と呼んでいた記憶がよみがえって懐かしい気持ちになりました。